

走行チェックシート

日付	2010年7月25日 (日)		時間	~	イベント	"コカ・コーラ ゼロ" 鈴鹿8時間耐久ロードレース 第33回大会		
天気	晴れ		マシン	GSX-R1000 L0	ライダー	新庄雅浩・民辻啓・鈴木大五郎		
コース	名称	鈴鹿サーキット			気温	33	°C	
	コンディション	DRY			気圧	1012	hpa	
	路面温度	57°C	(計測時間)		湿度	51	%	
エンジン	スパークプラグ	NGK R0045Q-10		エンジンOIL	シェルアドバンス #40			
	ファイナルレシオ	16 × 44(2.75)						
トランスミッション	1st	B(35/16)	2.19	4th	B(31/21)	1.48		
	2nd	A(37/20)	1.85	5th	C(22/30)	1.36		
	3rd	B(36/22)	1.64	6th	C(32/25)	1.28		
フロント	パーツ名	SHOWA(760mm)		TEN	-13			
	スプリング	10.00	N/m	OIL	SR6 #5			
	自由長	-	mm	油面	160	mm		
	イニシャル	12	mm	残ストローク	mm			
	COMP	-10		突き出し	STDToppブリッジで5mm突き出し mm			
リア	パーツ名	SHOWA(321.5mm)		TEN	-10			
	スプリング	120.0	N/m	残ストローク	mm			
	自由長	-	mm	リンク	STD			
	イニシャル	11	mm	リンクロッド	140	mm		
	COMP(HI)	MIN		車高	STD+22mm ピボット0mm スイング長607mm mm			
	COMP(LO)	-5						
タイヤ	フロント			リア				
	銘柄	ダンロップ		銘柄	ダンロップ			
	サイズ	125/80/16.5		サイズ	200/70R420			
	エア圧	2.1		エア圧	1.8			
チェック	順位	リタイヤ		ベストラップ	2' 13.794			
	水温	°C		油温	°C			
	ガソリン	IN	-	ℓ	走行距離	km		
		OUT	-	ℓ	燃費	km/ℓ		

<コメント>

皆さんお待たせしました。真夏の祭典 鈴鹿8時間耐久ロードレースが始まりました。
 新庄選手、民辻選手、今回から鈴木大五郎選手が加わり、3人で戦います。
 鈴木選手は昨年の第二ライダーでしたので、安定したタイムでラップできます。
 今年の8耐は事前テストから転倒が多く、厳しいレースになるだろうと予想していました。
 まず、7月始めの公開合同テストで5ラップ目に新庄選手が130Rで転倒、ライダーは無事でしたが車両はほぼ全損。
 テストは出来ず、燃費も確認できないまま翌週のテストへ。そこでも2日目に新庄選手が転倒、今回もライダーは無事、車両はステム周り交換になりました。
 前回のテストで鈴木選手が乗れなかったため、今回は15LAPを走行。去年より全然走行数が少ない状態で本番へ望みます。
 車両の方向としては前回の300Kmから進化させた仕様でしたが、なかなかタイムにつながりません。
 次回はもうレースウィークなのでもう一度別のアプローチでも仕様を考えていかなければなりません。
 レースウィークが始まり、燃費、タイヤの選択、セッティングをしながらライダー3人を走行させます。
 車体の方向はフロントタイヤになるべく荷重をかけすぎないようにバネレートを下ろしていき方向を進めます。
 バイクはFタイヤのグリップが有って旋回ができます。路面温度が高すぎるとグリップが少なくなってくるため、サスであまり押さないようにします。
 最終的にはヘッドパイプを少し上げ、車高を少し下げた状態で決勝をスタート。
 前回の300Kmではライダーとピット側との意識の統一が少なかったことなどもあり、今回はレース前土曜日の夜にじっくりとミーティングを行い、ピットのタイミング、車両にトラブルや燃料漏れのあった場合のライダーからのサインやその後のピットの対応などを打ち合わせました。
 このウィークの中でメカニック側が一番重要視していたのがこのミーティングです。事前に打ち合わせていればさまざまなトラブルがあったとしてもすぐに対応できるからです。
 決勝レースは晴れて路面温度は60°C近くになりました。
 スタートライダーは民辻選手です。民辻選手のスタートは定評があり、するすると前に行き11番手くらいで走行。
 13位くらいで落ち着き新庄選手に交代、予定周回数で鈴木選手に交代と思いきや帰ってきません。
 車両はヘアピンでストップしている模様でした。放送では転倒という情報もありましたが、戻ってくるまではわかりません。
 しばらくしてライダーが戻ってきて事情を聞くとどうやらガス欠のようです。残念でしたがここでMotoMapSUPPLYの耐久は終わりました。
 次回、全日本選手権SUGOがすぐです。気持ちを切り替えて望みたいと思います。
 応援ありがとうございました。

レーシングサプライ
 畑中 健太郎